

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和4年6月24日（金）

1. 基本事項

施策		生涯学習の推進	期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	教育部 生涯学習スポーツ振興課
総合計画	大項目	2 次代を担う人と文化を育むまち	目的・対象	市民が生涯にわたり、学び活動できる体制を整えることを目的としている。そのため、快適に活動できる環境を整えるとともに公民館の整備を進め、活発な生涯学習活動が行われるようにする。また、市民の多様な要望に応えられるよう、図書館資料を収集・整備し、図書に親しむ市民を増加させる。		
	中項目	2 誰もが生きがいを持ち学ぶことのできるまちづくり				
	小項目	1 生涯学習の推進				
	主要プロジェクト					
重要度・満足度	市民の価値観が多様化するなか、生涯学習に対するニーズも高まっている。生涯学習活動には、一定の満足度を得ているが、今後更に学習ニーズが高まると見込まれる。		施策推進のための主な取組	学習機会の提供と学習活動の支援 活動施設の整備・充実 図書館資料とサービスの充実		
施策を取り巻く社会状況等	高齢化の進行や自由時間の増大を背景に、多様な学習活動へのニーズが高まっている。図書館の利用者層も幅広くなり、ニーズが高齢化、多様化している。					

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				一部達成	一部達成	一部達成	一部達成	
成果指標	生涯学習を実践している市民の割合	%	-	35.90	36.40	36.90	37.40	38.00
	深谷市民まちづくりアンケート		37.60	33.20	35.40	37.40	31.30	
	公民館の稼働率	%	-	26.80	27.10	27.40	27.70	28.00
			27.40	27.30	29.10	29.10	30.10	
	市民1人あたり図書の貸出冊数	冊	-	3.86	3.90	3.93	3.97	4.00
	図書館での貸出冊数の合計を人口で割った平均値		3.84	3.94	3.95	2.70	3.45	

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>コロナ禍において、生涯学習を実践している市民の割合（31.3）は目標値を下回っている。目標値を高めるため、市民大学や公民館事業等を開催するとともに、公民館の利用の範囲を拡大し、民間事業者による専門知識・技術を活用した講座等を開催し市民の学習活動機会を拡充していく必要がある。また、図書館については、図書の貸出冊数が目標値に満たない結果である。今後も市民ニーズに合致した図書館資料を整備し、蔵書資料の充実に努めるとともに、講座等のイベントを展開するなど読書活動の推進を図る。</p>				
			評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	令和4年度から事業者（企業・営利団体・個人事業主等）が公民館を利用することを認め、公民館において事業者が生涯学習に資する講座等を開催することで、市民の生涯学習活動機会の拡充を図る。また、図書館資料については、引き続き計画的に整備を行う。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

<p>公民館は充実した機能や設備を有し、地域における市民の生涯学習活動の拠点として大きな役割を担っている。指標値では目標を上回っているが公民館稼働率は低調である。引き続き公民館施設の適正な維持管理を図るとともに、令和4年4月から民業への貸出し拡充を実効性あるものとするべく、利用拡大による市民の学習活動機会の拡充を図り、公民館施設の有効活用と施設運営の効率化を進め、自主財源のさらなる確保に資する取組を行っていく。また、図書館は、利用者のニーズを的確に把握し蔵書の充実を図るとともに、情報化の進展を見据えより効果的な取組を検討するなど図書館機能の充実を図る。</p>	
所属長	教育部長 荻野 昌利